

まち

No.15 2020年 秋号

発行日：令和2年10月23日
発行：日本大学理工学部まちづくり工学科教室
☎03-3259-0531(学科事務室)
発行責任者：岡田智秀(教室主任)
編集担当：小木曾 裕、西山孝樹
制作：株式会社 ムーンドッグ

contents

巻頭言	1
特集 まちづくり工学科3期生の「職場での活躍」	2
コロナ禍におけるまちづくり工学科・専攻の授業	10
メディア授業の方法について	10
講義「学生生活の安全・健康学」への思い～そして未来へ	11
長期海外派遣研究員出張報告	12
学部3年生・修士1年生へ「就職活動へ向けて」	13
令和2年度前期「まち」行事・イベントカレンダー	14
新任教員・職員紹介	16
教職員・学生の活躍	16

巻頭言

今、働くということについて

教授 依田 光正



「働く」とはどういうことか？

今の状況下で、新たに「働く」ということについて、多くの人が向き合わざるを得ない状況に陥っているのではないだろうか。大学生・大学院生の皆さんにとっては、言うまでもなく就活は重要なテーマである。しかし、今までの就活のプロセスに変更があったり、採用を取りやめたりした企業もある。また、仕事が始まってからも、今までと同様な仕事の内容やプロセスではないことも想像できる。このように、突然、社会の在りようが変化して、そして可逆性がないかもしれないことが徐々に浸透していく今の社会において、どのように自らが働くということに向き合うのか。

今までは、多くの仕事が、時間と空間を共有して、その中で個人の能力を提供するによって報酬を得ていたところがある。しかし今後は、時間と空間を共有しなくても、ほぼ同様な仕事をしなくてはならない、もしくはできる仕事がある、という事実を多くの働く人たちが知ってしまった。であるからこそ「何のために働くか」ということの原点に戻らざるを得ないところがある。このようなことを考えながら、「働く」ということに関して、ささやかな話を思い出してしまった。

かつて当方が関わった学生が卒業してリハビリテーションセンターに就職し、それぞれの利用者に合わせた車椅子を開発する仕事をする中での話である。当時の彼によれば、彼はメカニック部分を担当していたが、使用者や家族の意見も聞きながら、特殊なシートを専門に担当するようなエンジニアの人たちばかりでなく、福祉行政からどのような補助ができるかということについて検討するケアワーカー（当時）、さらに医学的な治療に関わってきたドクターやナース、もちろ

んりハビリテーションをおこなっている理学療法士などのチームで開発を進めていくとのことであった。開発の第1段階が終了して、試作の車椅子に使用者が座り、動き出した瞬間に、その場にいた開発に携わった人たちも一緒に館内の廊下を歩き出したそうである。彼曰く、「その瞬間は何とも言えないんですね」と。その使用者に関わってきた人たちが、それぞれの専門の中でおこなってきた仕事を自ら確かめるとともに、そのチームとしてその使用者に向き合ってきた結果を確かめているのかもしれない。

これは、「まちづくり」で言えば、建築物や公共空間の構造物の完成、もしくはまちの中での仕組み作りなどに多くの人たちと関わりながら、目標を達成した瞬間に共有する感覚とその本質はほぼ同じであろう。まだ働いていない学生の皆さんには想像の中でしかないだろうが、働いてきた人にとってもこのようなことを頻繁に経験できるわけではない。むしろ、日々の積み重ねの中で、共に働く人との関わりを通じて、ある瞬間に生まれてくるものである。

これからの仕事においては、このように同じ空間や時間を共有することは少なくなる可能性が高い。しかし、画面の向こう側で共に「働いている人たち」を思いながら働くときには、空間と時間を共有して仕事をするときと同じ心遣いをすることが大切なのではないだろうか。特に、「まちづくり」に関わる仕事は、一人だけでできる仕事の方が少ない。その一方で、自らが満足できる仕事を成し遂げるために、一人一人は自分の専門性を高め、自らを鍛え挑戦していくことがwith CORONAの前後に関わらず「働く」ということに他ならないのかもしれない。

まちづくり工学科3期生の

職場での活躍

まち科3期生に聞きました。

1

どんなお仕事を
していますか？



2

お仕事での目標は
なんですか？



3

学生時代に
打ち込んだことは？



4

後輩に就活への
アドバイスを！



まちづくり工学科は創設8年目となり、10周年が間近になってきました。まちづくり工学科はこれまで、教員と学生で歴史を積み重ねてきました。

2019年3月卒業の3期生の就職・進学の見込み決定率96.6%で、大学院修了生は100%でした。2020年3月卒業の4期生は、学部生99.2%・修了生100%と推移しています。現在、2021年3月卒業予定（5期生）の4年生は、内々定が出た人、また就職活動中のひととさまざまですが、皆頑張っています。また3年生の中にはインターンシップ先をどの企業や自治体にしようかと検討中の人もいて、新型コロナウイルス感染拡大予防の状況下ではありますが、徐々に就職モードになってまいりました。

そのような中で、まちづくり工学科の卒業生・修了生がどの

ようなところに就職し活躍しているかは、学科としてはとても大切なことです。年々就職の状況も厳しくなり、在学生はもちろんのこと、高校生を対象としたオープンキャンパス等でも、卒業生の就職先についてよく聞かれます。

広報誌『まち』の秋号では、2017年から3年連続で、卒業して1年たった卒業生に現在の仕事の様子や学生生活で得たことについて伺っています。今回は、大学院修了1期生にも執筆してもらいました。まちづくり工学科の特徴のひとつでもある、幅広い就職先での活躍をご一読いただければ幸いです。

なお広報誌『まち』のバックナンバーは、まちづくり工学科のホームページに掲載しております。ぜひ併せてお読みいただければと思います。

・卒業生の顔写真は、在学時のものです（『2018年度まちづくり工学科卒業アルバム』より） ・（ ）内の研究室名は、在学時のものです。

水石 知佳

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支社都市政策・デザイン部

卒論テーマ 東京港における海上からみた景観特性に関する研究
 一視距離と視野角の分析を通じて一（岡田研究室）

修論テーマ 東京港における船上からみた海上景観の魅力形成に関する研究
 一天候・昼夜・時間変化の違いによる海上景観特性一（岡田研究室）

好きな「まち」
横浜出身高校
大妻中野
高等学校

1 どんなお仕事をしていますか？

\ 1 /

私が所属するチームでは、「デザイン」をキーワードに、「①道路、橋梁、トンネル等の道路構造物、オープンスペースの景観整備・デザイン」「②歴史・文化施設の保存・利活用と、墓園の計画・設計」「③建築の計画及び設計」の3つの領域を主として業務を行っています。

また、新型コロナウイルス感染予防対策として、弊社では全社員テレワークを実施しています。WEBミーティングツールをうまく活用して、毎日の朝礼や作業ミーティングの徹底、勉強会の実施などにより、テレワーク勤務でありながらも、技術的成長が実現できていると感じています。

利活用と、墓園の計画・設計」を主に担当することになりました。学部生時代に学芸員課程の授業を履修して、学芸員資格を取得したことが業務で活かせるチャンスだと捉えています。しかし、その知識だけでは不十分のため、業務を遂行しながら専門知識や好事例を見る・知ることから始めています。まずは「歴史系業務の主担当として活躍する」ことを目標に、そして少し先の未来として「デザインに関するプロフェッショナルとして活躍する」こと理想に、成長していきたいと考えています。



大学院生のときに学会発表を経験（土木学会にて）

2 お仕事での目標はなんですか？

\ 2 /

私は本年度から、先述した3領域のうち、「②歴史・文化施設の保存・



職場オフィスにて

\ 3 /

学部3年から修士2年までの4年間、所属した岡田研究室にて、研究室行事の運営やワークショップなどのプロジェクト、学会発表などの研究活動を、ほぼ毎日欠かさずこなし続けました。うまくいかず何度もくじけたものの、それと引き換えに、学部4年の卒業発表では最優秀賞を、修士2年で経験した土木学会での論文発表では優秀講演者賞をいただくなど、これまでの自分で

\ 4 /

「将来どんな自分になっていたいか」という目標を、今のうちによく考えておきましょう。また、その目標を叶えられる就職先はどこなところか、きちんと見極めておくことが重要だと思います。私は当時、やりたいことや自分の未来が定まらず、公務員やコンサルタントなどの選考を受けましたが、どれも中途半端だったと感じています。私は結果的に今の職場で大満足していますが、失敗しないためにも、就職活動を嫌がらずにやり遂げることをおすすめします。たった数力月の就職活動での選択が、今後の約40年にわたる未来に関わってきます。みなさまのご活躍を祈念しています。

3 学生時代に打ち込んだことは？

4 後輩に就活へのアドバイスをし！

赤間 大樹

鹿島建設株式会社 横浜支店

(仮称)横濱ゲートタワープロジェクト建設工事事務所

卒論テーマ 地上レーザースキャナによる実大高架橋試験体の三次元計測
(仲村研究室)

出身高校
福島県立
福島東高等学校

好きな「まち」
福島市
(地元です！)



TC (タワークレーン) 組み立て後に、同期と運転席まで登りました

富なことだと考えます。知識の面では、一級建築士や1級建築施工管理技士の取得を目指します。そして「さまざまな工種(工事)」を経験します。知識と経験を豊富にすることで、作業員さんや先輩社員からの信頼を得ることができ、技術者としてのスキルを高めることができ

ができたことがいい思い出です。

3つめは研究室での活動です。私の卒業研究は測量のデータから3次元モデルを作成するというテーマで、仲村先生をはじめとする多くの方の協力を得て完成させることができました。

\ 4 /

誰もが口をそろえて言いますが、早く行動することに越したことはないと思います。私自身も早く行動したことで、希望していた会社に就職することができました。インターン・OB訪問・会社説明会など、就職に関係するイベントには早めに参加することをおすすめします。早く行動に移すことで視野を広くすることができ、自己分析も十分にできると思います。幅広い就職先があるまちづくり工学科だからこそ、早く動くことで自分のやりたいことを明確にすることができ、本当にやりたい仕事・会社に就職できると思います。

最後に、自分に自信を持って就職活動に臨んでください。

\ 1 /

私はS造CFT制震構造地下1階地上21階の建築現場の現場監督をしています。現場におけるSEQDC(安全・環境・品質・工期・コスト)が円滑にバランスよく進んでいるかを管理し、決められた工期の中で常に先を見ながら行動する仕事です。実際に計画したものが「目に見えるもの」になるので、とても「やりがい」を感じながら日々現場管理をしています。

現場での新型コロナウイルス予防対策は、マスクの着用、出勤時の検温、休憩・昼食の時間をずらして密を避ける、現場内にサテライト休憩所を設置して密を避ける、などです。

\ 2 /

私の目標は、いち早く「一人前の現場監督」になることです。「一人前の現場監督」とは、知識・経験が豊

ます。それが「一人前の現場監督」なるということだと私は思います。いち早く「一人前の現場監督」になるべく日々勉強し、多くのことを経験し、成長していきたいです。

\ 3 /

学生時代に打ち込んだことは、まずは学業(資格取得)です。私は在学中に、学科推奨の資格だった「宅地建物取引士」と「技術士補」を取得することができました。普段の学科の授業からその分野に興味を持ち、もっと深く知りたいと思い、勉強したことが合格につながったと思います。

2つめは野球(部活動)です。私は理工学部の準硬式野球部に所属し、キャプテンを務めていました。素晴らしい仲間と一緒に野球



3年生の秋、準硬式野球部最後の試合

小國 敬太

株式会社大林組 開発事業本部開発推進第四部

卒論テーマ 都市再生特別地区における規制緩和と都市再生の貢献に関する研究
(小木曾・山崎研究室)

好きな「まち」
中野
(中野区出身)

出身高校
日本大学第一
高等学校

1 どんなお仕事をしていますか？



関係者とのWEB会議の様子

不動産に関する知識はもちろんのこと、建築施工や設計、交通、土木、歴史などの都市に関わる幅広い知識が必要になります。そのような知識を幅広く身に付け、顧客に「小國になら任せられる」と思われ、顧客とその都市の利用者が満足できるような提案を

り自分の身を犠牲にしてでも全国各地を訪れていました。

\ 4 /

就職活動は後悔しないことが重要です。私は学生時代にさまざまな方から「開発系は狭くて厳しい門だ」などのご意見をいただきました。しかし私はゼネコンで都市開発業務に携わりたいと思い、最初から諦めず、落ちた後に「あれをやれば良かった」と思わないように、やるべきと考えたものにすべて取り組みました。今は心からあれだけやって良かったと思います。就職後に「あの業界に入れば良かった」「もっと真面目に就職活動をすれば良かった」と後悔しては遅いです。後悔しないように自分が何をやりたいのか、なぜそれがやりたいのかを明確にし、臨んでください。

2 お仕事での目標はなんですか？

\ 1 /

大林組開発事業本部の業務内容は大きく①自社開発、②再開発、③不動産ソリューションの3つに分かれており、私はその中の不動産ソリューションの部署に所属しています。不動産ソリューションとは、顧客が所有する遊休地の開発や老朽化した建物の建て替えなどを提案する業務であり、顧客が希望する建物の用途や規模、事業収支、都市開発手法などのあらゆる面からの検討、提案を行い、最終的に建築工事を受注することを目的としています。

業務内容上、顧客や関係各社との打ち合わせが非常に多く、コロナ禍の現状ではWEBを積極的に活用して打ち合わせを行っています。

\ 2 /

私は都市開発のゼネラリストを目標としています。開発では、建築や

したいと思います。その中で少しずつ、自分の武器となる分野やエリアの知識も身に付けたいと思っており、そのために毎日の読書や新聞の閲覧、建築士の勉強、最新都市開発事例の見学など、さまざまな事柄に取り組んでいます。

\ 3 /

私は学生時代、メリハリをつけて勉強と旅行に打ち込んでいました。宅建やECO検定などの資格取得や、まちづくり事例の見学とそれに関わる建築、都市開発諸制度の勉強をしました。そこで得た知識は今でも役立っています。旅行では、少しでも行きたいと思った地に積極的に訪れていました。国内では屋久島や富士山、北海道など、海外ではモン・サン・ミッシェル、エアーズロックなど多くの地に訪れました。「あの時に行けば良かった」と絶対に後悔したくないと考えていたため、時間の許す限



屋久島の縄文杉の前で、友人と記念撮影

3 学生時代に打ち込んだことは？

4 後輩に就活へのアドバイスを！

木村 柚香

株式会社フージャースコーポレーション 営業本部

卒論テーマ 市街地再開発事業におけるオープンスペースの変遷に関する研究
(小木曾・山崎研究室)

好きな「まち」
みなとみらい
(横浜市出身)

出身高校
日本大学
高等学校



\ 1 /

不動産営業で、新築マンションの販売を行っております。すまいを考えるタイミングはご家族それぞれのため、この時期でも複数のお客様がご来場されます。そのため、案内前には検温し、モデルルーム個別案内の方式で案内をしています。営業は、デベロッパーの土地仕入れ・建築・販売・管理の中でも、お客様と第一線で接する立場にいます。お客様のライフスタイルや悩んでいることと一緒に向き合い、紹介する物件がお客様にとってどんな魅力があるのかをお伝えする、ご購入の決断をサポートする役目です。事業目線というと、今後の事業に活かせるように、お客様の生の声を建築部や他部署に伝える役割を担っています。

\ 2 /

長期的な目標でいうと、営業の経験を活かして他部署で事業に参加すること。そうなるためには、立ち上げ物件を任せもらうこと。直近の



準硬式野球部

目標は、営業マンとして独り立ちすることです。まだ知識・経験が浅いため、先輩方にアドバイスをいただきながらお客様とお話を進めていくことがほとんどです。お客様にとって住宅は人生で大きな買い物であり、目の前にいる私は、年齢とは関係なく不動産のプロでなければいけない。「頼れる人だ。わからないことは、この人に聞こう」と思っていたるように、経験・知識を付けていきます。頼ってもらえた時、紹介した物件で決断いただけた時、お引渡後も変わらず連絡をいただけた時、そうした人とのつながりを持てることが嬉しく、やりがいにつながっています。

\ 3 /

私は準硬式野球部のマネジャーを務めていました。最初は野球の知識はありませんでしたが、先輩・同期・後輩に助けられ、スコア付けや試合運営まで行わせていただきました。4年間とても楽しく過ごしていました。今でも集まる大事な人たちです。

また、資格取得にも力を入れていました。私はまちづくりに興味はあっても、明確にやりたいことはありませんでした。そのため将来の選択肢を増やせるように、一級建築士の受験資格が取れる科目を選択し、宅建士や技術士補の資格を取得しました。今は宅建士が役に立っており、今後建築部や再開発の部署に配属する選択

\ 4 /



販売していた塩竈再開発事業の新築マンション

肢も残せているので、良かったと思います。

学生時代、私はやりたいことが明確にはありませんでした。そのため、資格取得を含め、説明会やインターンシップには何社も回り、直接社員さんに話を聞ける機会があれば、積極的に参加するようにしていました。弊社にも何度も足を運んで先輩社員から話を聞き、ここで働けたら楽しいだろう、頑張れるだろうと思い、選考に参加しました。この考えは間違っていませんでした。多くの社員に会って就職活動を進めていくことが、私の就職活動の進め方でした。さまざまな就職活動の仕方があると思います。近くにいる頼りになる先輩や先生方に助けていただきながら、自分のやり方を信じて頑張ってください。

井上 雄大

東日本旅客鉄道株式会社 成田保線技術センター

卒論テーマ 景観整備の質的向上に資するマネジメント手法に関する
景観まちづくり刷新支援事業に着目して
(歴史まちづくり研究室)

出身高校
千葉県立
我孫子高等学校

好きな「まち」
岩手県北上市



1 どんなお仕事をしていますか？

\ 1 /

私は線路の検査・保守管理を行っています。線路はミリ単位の管理が求められ、列車の揺れや音、季節や天候に応じた管理が必要です。学生の頃は、毎日時刻どおりに列車が到着することや事故が起きないことは当たり前と感じていましたが、現在はその当たり前を守るために日々業務に励んでいます。

現在は新型コロナウイルス対策として、マスクの着用が推奨され、会議もWEBで行うようになりました。今後は、テレワークの導入で働き方が変化すると考えられます。新しい時代になってもお客様に安全・安定輸送を確保し、新たなサービスを提供していきます。

\ 2 /

2年目の抱負は、担当業務を一人



変位の位置と量を確認し、補修延長を調査する

でやり抜くこと、他業務にも関わることです。私は1年目から担当業務の責任者を任せてもらいました。ただ1年目は、検査の方法や保線器具の使い方の把握・パートナー会社への不良箇所の修繕依頼の提出・施工内容の上司への説明など、すべてを一人で行うことはできませんでした。先輩に助けてもらいながら、検査を無事に終了できました。本年度は昨年度の反省を活かし、正確さとスピードを意識します。そして、担当業務を早く完結させ、他業務に関わり、先輩を助ける2年目になります。

\ 3 /

私はサッカーを5歳から始めて、現在も会社のサッカー部に所属しています。サッカーで学んだことは、

味方が次のプレーをしやすいパスをすることです。それは仕事でも活きています。サッカーではボールを、仕事では資料や引き継ぎを、相手が求めているパスを考えて送ることができてい



現在も続けているサッカー。チームスポーツから多くのことを学んだ

ます。仕事は一人ではできません。各自が与えられた役割を、高いレベルで完結させることで大きな成果を得られると思います。チームスポーツを経験したことで、コミュニケーションや相手に意思を伝える重要性を学べました。

\ 4 /

私は就職活動だけに限らず、日々の準備が重要だと思います。「段取り八分」という言葉があるように、目標に対して、どのようにプロセスをしたかが大事だと思います。例えば、面接試験までに、何を調べて、どんな準備をするかなどスケジュールを意識して、行動することが大事だと思います。目標は必ずしも達成できるとは限りませんが、そのプロセスで感じたことは次につながります。先を考えた行動ができる人は、社会に出て一目置かれると思います。日々考えながら生活して、頭の切れる社会人になってほしいです。

2 お仕事での目標はなんですか？

3 学生時代に打ち込んだことは？

4 先輩に就活へのアドバイスを！

桑原 朱里

千葉県 県土整備部香取土木事務所建設課

卒論テーマ バランスド扁平アーチ橋の振動特性評価
(仲村研究室)

出身高校

千葉県立
成田国際高等学校

好きな「まち」
成田市



\ 1 /

私の主な業務は、管轄地域の道路や河川を整備する工事・委託の監督や設計書の作成です。定められた基準どおりに施工されているか、品質・安全管理が徹底されているかを確認し、工期内に工事が完成するように施工業者と調整・協議をし、業務を進めていきます。また、災害が発生した際には、速やかに管轄地域をパトロールし、被害状況をとりまとめ、応急復旧作業の指示や情報提供を行い住民の安全を守っています。

新型コロナウイルスの拡大防止として、緊急事態宣言期間中は在宅勤務、時差出勤等をしておりました。職場でしかできない業務と在宅で取り組める業務を分けるなど、工夫しました。

識を身に付けることです。土木公務員は多様でかつ幅広い業務に携わります。それぞれの業務についてよく理解しなければ、施工業者に的確な指示が出せません。今後業務を円滑に進めるためにも日々専門知識の定着を目指し、自己研鑽に励みたいと思います。

2つめは柔軟な対応力を身に付けることです。工事では、設計と現場に差異があった場合、現地調査を行い、安全性・経済性等について検討をし、適切な工法を選定します。上司や施工業者と協議をするため柔軟に対応する必要があります。今後、現場内でトラブルが発生した際、早期に対応できるように日頃から幅広い視野を持って業務に取り組みたいです。



同じ研究室のメンバーと旅行

専門知識の定着及び成功体験が実感でき、自分に自信を持つことができました。また、私の研究室ではさまざまな現場見学に行き、土木・建設産業の魅力を身近に感じることができました。

\ 4 /

\ 2 /

私の目標は2つあり、1つめは知

\ 3 /

私は、学生時代、興味のあることにたくさん挑戦しました。その1つは資格取得です。大学3年生の時に土木分野の専門的な知識を身に付けたいと思い、技術士補と測量士補の資格取得を目指して勉強しました。大学と資格勉強の両立は大変でしたが、毎日小さな目標を立てて勉強し、2つとも資格を取得することができました。

その他にも私は水族館等の博物館に興味があったので、学芸員の資格も取得しました。資格を取得することで、

就職活動で大切なことは自分自身と向き合うことだと、私は思います。自分のやりたい仕事は何かを自己分析してください。また、公務員を目指す場合、内定をもらえるのが4年生の秋以降になることが多いです。長期戦だったため、私はとても不安になりました。そこで、自信をつけるために定期的に模試を受験し、面接練習では研究室の先生や就職指導課の方々に何度も見てもらいました。試験勉強は大変でしたが、一緒に勉強してくれる仲間がいてくれたから頑張れました。今後の自分の人生に関わることなので、一人で悩まず、溜め込まず、たくさんの人に助けてもらってください。



河川護岸工事の現場

山口 博

東京都 建設局南多摩西部建設事務所工事課

卒論テーマ 東京港における昼夜間の比較からみた海上景観特性に関する研究
—記憶に残る海上景観要素とその景観特性について—
(岡田研究室)

好きな「まち」
みなとみらい

出身高校
横浜創英
高等学校

1 どんなお仕事をしていますか？

\ 1 /

私は、建設局の出先事務所である南多摩西部建設事務所に所属し、河川の維持管理を担当しています。八王子市・日野市が管轄で、浅川や湯殿川などの18河川、その総延長は約120kmに及びます。主に住民対応をはじめ、施設の健全度を調査して補修工事を実施したり、災害等で被災した施設の復旧・強靱化工事を実施したりしています。このように、河川維持管理業務である工事・委託の設計・積算・起工・監督等が私の業務内容です。

新型コロナウイルス拡大の影響により、職場では感染予防対策として、出勤の割合を抑制し、テレワーク・在宅勤務に取り組んでいます。

年5カ月、社会人として働いてきましたが、業務を通じて知識不足を感じました。円滑な職務遂行を果たすために、積極的に上司へ質問したり、専門誌を読んだり、技術士などの資格勉強を行い、知識の向上に励みたいです。また、現場調査を積極的に行い、各現場の特性や工法等について、土木技術に関する知識を蓄えたいです。



全日本学生オープン大会にて

2 お仕事での目標はなんですか？

ますが練習会や大会に出ています。大学での課題や研究活動のほかに、アルバイトもしていて多忙でしたが、好きなことを見つけそれを継続できたことは、良かったと感じています。

\ 4 /

私は3年生の夏休みに1週間、地元である横浜市役所のインターンシップに参加したことがきっかけで、公務員を目指しました。就職活動は不安であり面倒であり、良いようにはありませんでしたが、実際に自分が一生働くかもしれないと覚悟を決め、悔いが残らないよう積極的に行動することが大切だと思います。公務員講座を受講して勉強したり、先生方はもちろん友人やOB・OGに相談したり、説明会等に参加して情報収集したりと、志望先に就職するためには具体的に計画してそれを最後まで実行すること、諦めない気持ちが大切かと思います。

3 学生時代に打ち込んだことは？

\ 2 /

私は技術職公務員として、円滑な職務遂行を果たすために、幅広い知識を身に付けたいと思います。約1

\ 3 /

私は大学時代、理工学部ソフトテニス部に所属していました。中学生からソフトテニスを始め、高校、大学と続けてきました。大学では、

練習会や大会に参加するだけでなく、理事という役職で大会運営等に励みました。

社会人となった今でも職場のソフトテニス部に所属しており、時々ではあり



2年目頑張るぞ！

4 後輩に就活へのアドバイスを！

未知の感染症（COVID-19）に対し本学は右往左往しましたが、「学生が感染しないように」を第一に考え対応しました。「対応が100点じゃない！」と感じる人もいますが、大学学部方針の枠内で教員も努力を重ねました。わが国では2月頃より COVID-19の話が大きくなりました。当初、われわれは3月末には状況が落ち着き4月から面接授業……と予測しておりました。しかし、4月に入っても状況は好転せず、ガイダンスを4月13日から1週間かけ分散して行い、4月20日から各授業ガイダンスを含め面接授業……としていましたが、さらに事態は悪化しました。つまり、予想は外れ、度重なる方針転換……、もはや授業開始の再考不可として、5月11日から全授業開始となり、授業方法もすべてメディア授業となりました。以上は学部方針で、この枠内で学科は以下のことを鑑み、メディア授業を実施しました（表A参照）。

表A

項目	各項目の意義
①	学生が都合の良い時に見られ、何度も見返すことができるというメリットがあり、双方向授業において本学で用いられる Google Meet は多数の留学生の母国である中国では見られず、音飛びなどの視聴不良があるなどのデメリットがあるため、オンデマンド方式を推奨した。
②	「学生は時間割で動く」、つまり普段の生活環境を考え時間割通りに動画配信した。特に教員がバラバラにアップロードすることは学生に対して迷惑であるため、「時間割通りの配信」を教員に徹底した。
③	授業開始が二転三転したこともあり、多くの授業で時間数が足りず補講を予定していた。教員間で情報交換しないと、教員がまちまちに補講日時を設定するため、学科で「補講カレンダー」を作り情報共有した。
④	オンライン授業では学生が教員の目の前にいないため、授業を本当に受けているかわからない。また一方で、時間の使い方が自由になるため学生の生活環境の悪化が考えられる。これらのことを懸念し、授業出席確認を徹底し学生の生活チェックを行った（もし欠席（無反応）が続くようであれば、連絡を入れることとした）。
⑤	教員が90分しゃべりっぱなしだと聞く方は大変疲れ、ノートをとる時間も無くなる。学生にとって酷な状況を作り出していることを反省し、各教員工夫をしてもらった。
⑥	試験を実施する科目については、当初は試験だけでも対面を期待したが、「学生の安全」を考えるととてもできなかった。理解度測定方法には教員も大変悩み、ベストではないがベターな方法として、通信環境等も考慮し、解答するためにある一定期間・時間をとった「理解度確認レポート」を推奨した。

- ① オンデマンド方式の授業を主体とした。
 - ② 時間割通りの動画配信とした。
 - ③ 補講が重ならないように教員間で調整した。
 - ④ 出席確認を何らかの方法で行った。
 - ⑤ 動画視聴を含め授業時間は90分を順守した。
 - ⑥ 理解度確認レポートを利用して定期試験の代わりとした。
- 複数の学生さんとオンライン面談を行い、また各種アンケートで皆さんの意見（不満）を伺いました。「確かにそうだ」という意見も多いです。全教員は皆さんの意見を目にしておりま
す。教員陣としては「聞いた・読んだ」だけで終わらせることなく、夏季休暇中、授業改善を話し合う場を設けました。今後、この状況が長く続く可能性がありますので、大学学部の方針の範囲内で学科としてできないこともあります。改善の方向にはベクトルを向けていきます。

メディア授業の方法について

准教授 山崎 晋

ICT教育支援委員として、「メディア授業の中でも、なぜオンデマンド方式の動画視聴授業となったのか」について説明します。

まず、メディア授業には主に次の4つの方法があります。動画配信システム（Google Meet 等）を利用してリアルタイムで実施する「①同時双方向型」、動画配信システムを利用して片方向のストリーミングで配信する「②ストリーミング配信型」、事前に撮影した授業動画を配信する「③授業動画配信型」、90分の授業時間に相当する講義説明を学習管理システム（CST

表B

	学生のリアルタイム視聴	リアルタイムの質疑応答	LMSでの意見交換・フィードバック	LMSでの課題提示	受講上の通信負荷
① 同時双方向型	要	要	不要	不要	大きい
② ストリーミング配信型	要	不要	要	要	やや大きい
③ 授業動画配信型	不要	不要	要	要	やや少ない
④ LMS 単体型	不要	不要	要	要	少ない

ポータルⅡ等）で提示する「④LMS*単体型」。

以上の①～④の特徴を整理したのが、表B（メディア授業の種類と特徴）です。これらのメリットとデメリットを踏まえ、各家庭の状況に応じて柔軟かつ安定的に視聴できる「③授業動画配信型」としました。

③ではなく、①②④の方が良いと感じていた学生もいるかもしれませんが。前期に実施した授業アンケートの中には「同時双方向型が良い」との意見があったことも承知しています。教員からも「授業動画配信型では、授業動画作成や各回の課題チ

エック等に時間がかかるため、同時双方向型で学生の反応を見られる方が良い」との意見もありました。しかし4月の時点では、各家庭のパソコン設置状況やインターネット回線状況も把握できていない状態で、授業方法も科目ごとにバラバラにならない方が受講者側の混乱が起きにくいという判断で「授業動画配信型」とした次第です。授業アンケートでも「家族共用のパソコンしかなかったが、動画配信だったので対応できた」「授業動画配信型の方が見直しもできる」等との肯定的な意見もありました。

皆さんからの意見をすべて反映させることは難しいですが、後期に向けて、個々人のICTスキルや設備環境等も踏まえながら、学びにつながる支援をしていく所存です。後学期も厳しい状況が続きますが、この状況下でできることを探りながら、ともに前へ進んでいければと思っています。

※ LMS: Learning Management System(学習管理システム)の略で、本学部では CST ポータルⅡや Google Classroom 等を使用しています。

講義「学生生活の安全・健康学」への思い～そして未来へ

特任教授 城内 博

現在、理工学部の多くの学科で新入生に対して「学生生活の安全・健康学」の講義が行われていますが、私がこの講義を始めたのは2013年でした。この講義のきっかけ、目的、思いについて総括します。

私は2002年に厚生労働省の研究所研究員から日本大学理工学部教員に転職しました。理工学部で勤めて、各階エレベーターの前に灰皿が置いてあることに気づき、とても驚いたことを思い出します。理工学部では稀有な医師の教員だったので、理工学部の安全衛生委員会や学生保健委員会の委員を務めることになりました。

当時、学生の自殺、実験中のけがや火災、詐欺の片棒を担いでの逮捕、メンタルヘルスによる休学や退学、学内での飲酒などさまざまな問題があり、理工学部としてそれらへの対策が重要な課題になっていました。私の専門が予防医学（特に働く人の健康管理）でもあり、学生に対しても予防の観点から教育する必要があると考えました。予防で最も大切なのは「ハザード（危険性・有害性）を理解し」、「自分を知って」対応することです。現在流行している“COVID-19”（新型コロナウイルス感染症）でも、ウイルスの特徴（DNAまたはRNA、感染力、感染経路、症状、致死率、治療薬など）を理解し、自分の状態（体温、体調、喫煙習慣、高血圧・糖尿病等基礎疾患など）を知って、対応することが求め

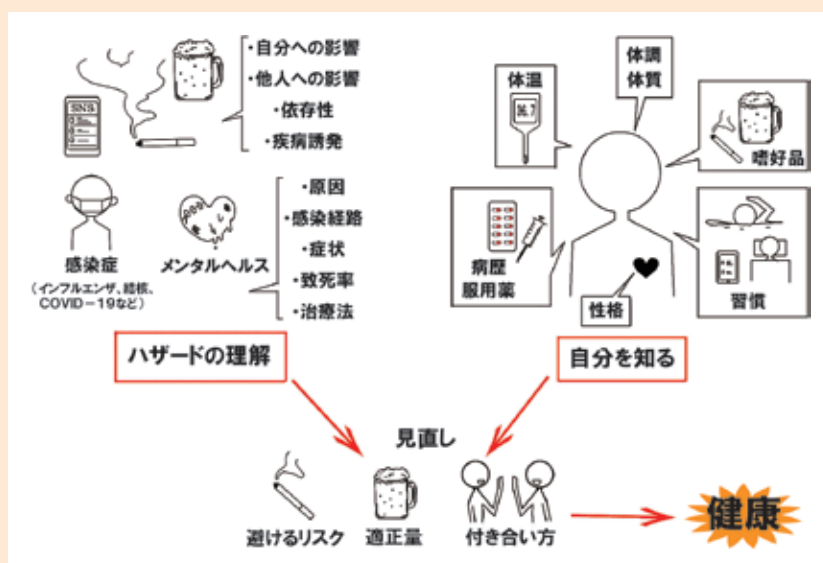
られます。

一般に、大部分の学生は元気なので特別の配慮は不要に思えますが、だからと言って何もしないでは前述のようなさまざまな問題に対応できませんし、彼らの将来に対しても不安が残ります。そこで学生課と相談して、全新入生に対して、学生がキャンパスライフを安全・健康に過ごし、無事卒業していけるように「学生生活の安全・健康学」の講義を計画しました。しかしこれには多くの教員から大反対があり計画が頓挫しかけました。反対の理由は「理工学部は専門的なことを教えるところであり、専門とは関係のない科目は不要である」というものでした。幸運にも「まち科」の天野教授が当時「学生担当」として執行部にいらして、支援をいただき、講義の実施が可能になりました。2013年から2017年までは、私が一人でほとんどの学科の講義を行いました。2018年からは各学科の先生が講義をされています。

「学生生活の安全・健康学」の内容は、日本人の死因、若年者の死因、感染症及びその対策、喫煙と健康障害、飲酒の問題、メンタルヘルスの原因とその対応、健康管理のための知恵、理工学部の取り組みなどですが、前述の予防原則にしたがって、ハザードを理解し、自分の状態を知って対応するという流れになっています。この講義（スライド）の根源的な目的は、多くの病気は人の集団「まち」から起きることを

学び、それへの対応を自ら考える力を養うことにあります。感染症は人が家畜を飼い、農業を始め、集団で暮らすようになって爆発的に広がり、「まち」の存続、国の盛衰にも関わってきました。またメンタルヘルスによる病気も人と人との関係から生まれます。さらに病気の8割は仕事（つまり社会での役割分担）に関係するといわれています。

COVID-19は、現代人に「人」と「まち」の限界と可能性を一から考える機会を与えてくれています。「まち」もこれまでとは異なるパラダイムにそったものになるでしょう。「まち科」のさらなる高みへの進化を期待しています。



◀ ハザードの理解と自分を知ること

日本大学長期海外派遣研究員として、2019年6月30日より米国ハワイ州に滞在し、ハワイ大学アメリカ学科に籍を置きながら、日系人に関わる歴史まちづくりについて研究してまいりました。2020年7月16日に帰国いたしましたので、ここに報告いたします。

■ 研究の目的 一なぜ、日系人に関わる歴史まちづくりなのかー

一昔前、日本人にとってハワイ観光のイメージといえば“楽園”“ビーチ”“ショッピング”でしたが、近年は観光ニーズの多様化を背景として、これまでとは一味違ったハワイの楽しみ方が浸透してきました。例えばハワイ旅行のガイドブックを開くと、実にさまざまな観光資源やアクティビティが取り上げられています。なかでも目に留まるのが、“日系人”や“日系移民”というキーワードです。「日系移民の歴史に出会う旅」などと題して、日系人が経営する商店やレストランなどが多数紹介されています。

日本ではあまり知られていませんが、ハワイの日系人の歴史は150年を超え、かつてはハワイの全人口の約4割を日系人が占めていました。そうした歴史を踏まえ、日系人に関わる歴史資産はハワイ各島に息づき、また日系人が紡いできた文化もハワイの暮らしに深く根付いています。これらの歴史・文化資産（日系レガシー）は、ハワイのまちづくりに厚みとアクセントを与え、さらにハワイの観光に彩りと味わいを付加しています。

そこで、現地ハワイに1年間滞在し、こうした日系レガシーの魅力を引き出すハワイの歴史まちづくりの取り組み実態を探ることにしました。

■ 研究の内容 一何を研究してきたのかー

今回の滞在では具体的に、ハワイ各島に受け継がれている

個々の日系レガシーについて、保全の経緯や利活用実態等を調査してきました。ハワイの日系レガシーは、例えばコーヒー農園や農業用水路、石切り場、商店、レストラン、銀行、ホテル、病院、日本語学校、神社仏閣、教会、庭園、住宅、風呂場等々、その類型は実に多様かつ広範囲です。そうした日系レガシーの魅力を一つひとつ紹介したいところですが、紙面の都合もありますので機会を改めたいと思います。

一つだけ、少し理屈っぽくなりますが、調査を通して気づき、感心したのは、いずれの日系レガシーにおいても、建築物の意匠や構造といったモノとしての価値だけではなく、そこで営まれてきた人々の暮らしや地域コミュニティにおける役割といったコトにまつわる価値が、専門家により評価され、広く、そしてたいへんわかりやすく周知されていることでした。そうした取り組みにより、地元住民はもとより、遠方からの観光客も、レガシーたる所以を容易に理解でき、その魅力に深く惹かれていくことになるのです。この点は、日本の歴史まちづくりも見習うべきでしょう。

■ COVID-19 そして帰国

滞在半ばの2020年3月4日、新型コロナウイルス感染症対策として、ハワイ州知事により非常事態が宣言され、自宅待機命令をはじめとする全米一厳しい規制が布かけられました。新聞各紙の「パール・ハーバー以来の打撃」といった記事を見るにつけ、日米開戦直後の日系人の皆さんの苦勞が身につまされる思いでした。

この間、まさに“胃の痛くなる”日々でしたが、まちづくり工学科をはじめとする日本大学やハワイ大学の関係者の皆様、そして現地の日本人や日系人の皆様に支えていただき、どうか非常事態宣言下の生活を乗り切ることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

直行便が運休するなか、15時間の乗り継ぎ待ちを含むおよそ30時間の行程で、2020年7月16日に帰国しました。帰国後14日間の隔離生活を経て、およそ1年ぶりに戻った自宅で久しぶりの湯船につかった時、ようやく日本に戻って来たことを実感しました。過酷な労働を強いられた初期の日系移民は、ハワイ各地のプランテーション・キャンプで風呂屋を開いたそうです。一日の疲れを癒やすために浸かった湯船で、はたして彼らが何を思ったのか。今なら少し理解できる気がします。

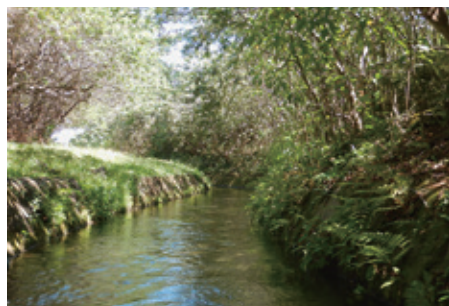
およそ1年間のハワイ滞在では、実に多くのことを学び、経験しました。それらを今後の教育や研究に、しっかりと生かしていきたいと思います。



Sueoka Market (カウアイ島コロア) : 日系人の暮らしを支え続けてきた商店



Makiki Christian Church (オアフ島ホノルル) : 高知城などの日本の近世城郭を模したキリスト教会。日系人建築家が設計。戦前の日系人の米化運動に関連



Kohala Ditch (ハワイ島ハヴィ) : 多数の日系人が建設に携わったサトウキビ・プランテーションのための農業用水路



Moiiliili Quarry (オアフ島ホノルル) : 多数の日系人が従事した石切場 (現ハワイ大学キャンパス)

1. スケジュール

みなさんが対象である2022年卒の就活スケジュールについては、これまでのスケジュールを踏襲する方針が政府より示されています。2021年3月1日以降に採用広報活動（会社説明会等）開始、同年6月1日以降に採用選考活動（採用試験）開始となる見通しです。しかし、実際には多くの企業がコロナ禍で模索しながら、これよりも早い日程で実質的な選考を進めていくと予想されます。

公務員1次試験は、例年、国家公務員総合職を皮切りに、都道府県庁、政令指定都市、国家公務員一般職、市区町村と順次実施されます（近年は国家公務員総合職に先行して試験を実施する地方自治体があります）。1次試験を通過すると2次試験以降に臨むことになります。国家公務員採用情報NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>) や公務員試験情報こむいん (<http://comin.tank.jp/>)、各自治体のホームページ等を頻繁に確認して情報入手に努めることが大切です。なお、本年度はコロナ禍で例年よりも約2カ月遅れのスケジュールで実施されたことに注意してください。

本学大学院入試は、例年6月下旬～7月初旬（推薦・一般第1期）、9月（一般第2期）、3月（一般第3期）に行われます。まちづくり工学科では大学院への進学を勧めています。研究活動を通じて人間力を高められた大学院修士生の求人は、今後ますます増加すると見込まれます。

昨今の就職活動は短期決戦と言われ、3月から5月の3カ月に集中して多くの企業が採用活動を行う傾向にあります。このような短期決戦を乗り切るためには、早い時期に始動することが肝心です。まずは今から情報収集を始めてください。知らないことをやりたいとは思えないはずです。自分で情報を収集し、自分の可能性や選択肢を広げ、どんなに遅くとも年内には

自分がやりたい仕事（業種）、志望企業を決めておきましょう。

2. 情報収集しよう！

就活関連の冊子を活用しよう！

「CAREER2021」を配布しました。理工学部オリジナルの就活支援冊子です。有益な情報がコンパクトにまとまっていますので活用してください。また、書店にはSPIや玉手箱等の筆記試験対策、履歴書・ES（エントリーシート）の書き方、面接対策、公務員試験対策など就活に関する本が多数置いてあります。必要に応じて自分にあったものを選ぶと良いでしょう。

就活支援サイトやNU就職ナビを活用しよう！

リクナビ、マイナビなどの就活支援サイトへの登録を済ませましたか？ まだの人はすぐに登録してください。日大独自のNU就職ナビにはキャリアタスUCが組み込まれており、有用な情報が多数掲載されています。秋季／冬季インターンシップ・合同セミナー・説明会などへのエントリーや申し込み、書類提出もこれらのサイト経由で行う企業がほとんどです。登録していないと情報が入手できないばかりか、採用試験を受けられないこともあります。

行事（インターンシップ、セミナー、説明会、講演会など）に参加しよう！

夏休み中のインターンシップは就業体験が主目的でしたが、秋以降は就職活動の一環だと思ってください。さらに、これからは学内外でセミナーや説明会、講演会が開催されます。学内では、学科主催の「就職活動ガイダンス」「企業セミナー」「企業による説明会・面談」「公務員1次試験・面接対策講座」、本部や学部主催の「公務員講座」「業界セミナー」など多数の講座が開催されます。学外では、就活支援サイトや各企業のホームページに開催告知が出ます。このような行事は、実際に働いて

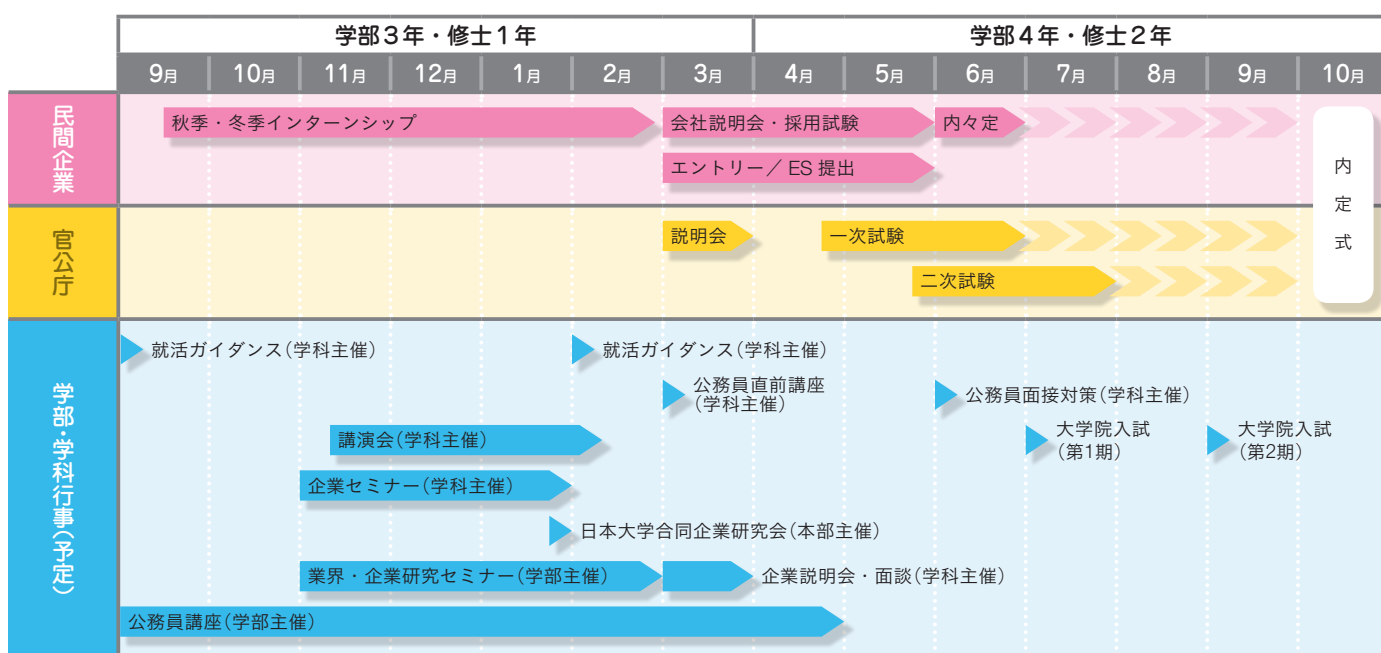


図1 キャリア支援・就職活動の概略スケジュール

ている方々の話を直接聞いたり、質問をできる貴重な機会です。パンフレットやインターネットのみでは入手できない、みなさんが本当に必要とする情報を得るチャンスです。今年はオンラインでの開催が主となりますが、積極的に参加しましょう。

周りの人に相談しよう！

自分のことですから、自分で考えることが大切です。しかし悩むことも多々あるでしょう。自分の考えを整理したり、自分の意思を確認するためにも、家族、友人、ゼミ・卒研の指導教員、就職指導課キャリアアドバイザーなど身近な人に相談すると良いでしょう。所属研究室・ゼミに関係なく、学科の就職指導担当教員（天野・田中・仲村）、公務員指導担当教員（高村・後藤・八藤後）も、もちろん相談にのります。

就職指導課を活用しよう！

就職指導課では、常駐のキャリアアドバイザーから就職活動全般についての相談、ES（エントリーシート）や履歴書の添削、面接対策等の指導が対面またはオンラインで受けられます。詳しくは就職指導課のホームページを参照してください。

まちづくり工学科「就職活動支援ポータルサイト」を活用しよう！

みなさんへ有用な情報を提供するために、学科独自の就活支援ポータルサイト*を立ち上げました。このサイトで必要な情報をすべて入手できるように整備を進めていきます。インター

ンシップ・セミナー・説明会などのイベント情報に加えて、学校推薦や求人などの情報、先輩たちが残してくれた貴重な就職体験記・公務員試験合格体験記などまち科独自の貴重な情報も閲覧できます。また、就職全般／公務員メーリングリストでもさまざまな情報を発信していきます。

まちづくり工学科の教員
及び学生のみ閲覧可能

※就職活動支援ポータルサイト URL

<https://sites.google.com/nihon-u.ac.jp/machicarrier/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

3. 資格について

国土交通省技術検定（土木・建築・建設機械・造園・電気工事・管工事の各施工管理技士）は、指定された科目を単位修得して卒業すれば、受験資格の要件（実務経験除く）を満たすことができます。建築士（一級・二級・木造）については指定科目を単位取得して、卒業すれば実務経験無しで受験が可能となりました。大学院生は在学中に建築士試験を受験できます。これらはみなさんの今後にとって必須の資格です。未修得の指定科目は早めに単位取得することを強く勧めます。また、技術士補や宅地建物取引主任士の試験にも積極的に挑戦しましょう。

4. 授業について

就活に気をとられ過ぎて授業をサポートばかりでは本末転倒です。大学は就職予備校ではありません。みなさんが最優先すべきことは大学での勉強であることを決して忘れずに。

この就職活動を機に、真剣に将来を考え、悩み、自分の道を切り拓いてください。われわれ教員はできる限りみなさんをサポートしていきたいと思っています。相談などあれば遠慮なくどうぞ。



図2 まち科就活支援ポータルサイトのトップページ

令和2年度前期 “まち” 行事・イベントカレンダー

3/25 水 卒業式 (学位記伝達式)

日本武道館において毎年行われていた日本大学卒業式は、当初より2020東京オリンピック・パラリンピック準備のため使用できず、やむなく学部ごとに式典を行うことになっていました。そのため理工学部では、船橋校舎理工スポーツホールにおいて卒業式を行うことになりました。

しかし、年明けから新型コロナウイルス感染拡大のニュースが本格化し、社会活動への制限も現実味をおびてきました。大学では、2月3日までの定期試験、まちづくり工学科における2月19日の卒業研究審査会、ならびに大学院まちづくり専攻における2月26日の修士論文審査会は従来の発表形式のまま実施でき、プログラムをすべて通常どおりの方法で終えることができました。その後間もなく国内の感染拡大は現実のものとなり、大学への入構が制限されるようになりました。



阿部研究室



天野・西山研究室



岡田・落合研究室



小木曾・山崎研究室



後藤研究室



高村研究室



田中研究室



仲村研究室



八藤後研究室

そのような状況下、卒業生2千名を超える理工スポーツホールでの卒業式は中止され、各学科・専攻による式典を行うことになりました。ところがその後事態はますます深刻化し、一時卒業式、学位伝達式そのものを中止するという議論もあったと聞いています。

まちづくり工学科では、船橋校舎6号館の2フロア6教室において、研究室ごと10人程度が各部屋に分散し、さらにそれぞれの教室も2クールに分け、1クール20分間という極めて制限された時間で学位記伝達式を行いました。

このような卒業式は、今後もう無いことを願うばかりですが、114名の卒業生、ならびに6名の修了生を無事送り出すことができました。(令和元年度4年生・大学院クラス担任)



依田研究室



押田研究室



大学院



分散して着席した学位記伝達式の様子

4/20 月 ガイダンス

令和2年4月、103名の新入生がまちづくり工学科に入学しました。3月下旬以降、日本国内、とりわけ東京都内における新型コロナウイルス感染症罹患患者数が急増し、これに伴い、4月上旬に予定されていた入学式や船橋キャンパスでのガイダンス等の実施が見送られ、4月20日より、CSTポータルを用いたオンラインでのガイダンス、授業がスタートしました。1年生の皆さんは慣れないオンライン授業により、その環境の未整備と通学しないことによる大学生活の実感の無さが生じていると予想されたため、可能な限り履修の不便を払拭すべく1年生担任により、オンライン環境に関するアンケートを急遽実施し、それを通じて皆さんが置かれている状況を確認・サポートすることができました。以上のように、1年生の皆さんにとっては不測の事態の中での大学生生活のスタートとなりましたが、何とか前期を乗り切ることができました。後期は一部実習科目において、安全を確保したうえで対面授業の実施を予定しております。皆さんが、充実した学生生活をお送りできるよう、まちづくり工学科教職員一同サポートして参りますので、質問などあれば、いつでも気軽にお尋ねください。

5/11 月 前期授業開始 (オンライン授業)

〈教室主任〉岡田智秀 (補佐：後藤 浩)

〈担任〉 1年生 高村義晴、八藤後 猛、押田佳子
(補佐：牟田聡子)

2年生 天野光一、落合正行

3年生 後藤 浩、西山孝樹 (補佐：荒巻卓見)

4年生 田中 賢、依田光正 (補佐：田島洋輔)

大学院 仲村成貴

〈就職〉 仲村成貴、天野光一、高村義晴、田中 賢、八藤後 猛

〈学務〉 後藤 浩

〈広報〉 西山孝樹

6/28 日 付属高校生のためのオープンカレッジ (オンライン相談会)

7/12 日 バーチャルオープンキャンパス (入試フォーラムオンライン相談会)

本年度はWEB上でオープンキャンパスが開催され、オンラインで教員と個別に相談できるプログラムが設けられました。



7/25 月 令和2(2020)年度「第1回 修士論文審査会」

修士論文審査会をオンライン双方向形式で実施しました。トラブルもなく、活発な質疑応答、意見交換が行われました。



8/22 土 23 日 バーチャルオープンキャンパス (Special 2 Days LIVE LIVE LIVE!)

「学科・入試個別相談」に加え、YouTube ライブ配信「日大理工の学科を楽しく知ろう！」や、在学生による学科説明や質問の時間を設けた「教えて先輩！ 在学生に聞いてみよう！」など、多彩なプログラムを実施しました。



新任教員・職員紹介

2020年4月1日より着任された教職員の皆様です。よろしくお願いいたします。



客員教授
しみず えい ほん
清水 英範

新任 **最終学歴** 1984年 東京大学工学系研究科土木工学専攻修士課程修了
学位 1989年 工学博士／東京大学
職歴 1985年 東京大学技官
1987年 東京大学助手
1990年 東京大学講師、岐阜大学助教授
1993年 東京大学助教授
1998年 東京大学教授（工学系研究科社会基盤学専攻）
2019年 （公社）日本測量協会会長
2020年 東京大学名誉教授、日本大学客員教授

座右の銘 一步一步、前へ



新任 **事務** 小田 亜由美

自然を生きながら人工的な物がある様な風景が好きな、男子二人の母です。どうぞよろしくお願いいたします。



新任 **事務** 増田 彩子

福井県出身。現在は東京：下町で年の離れた兄妹の子育てに格闘中です。季節ごとに色が変わる「田んぼのまち」の風景が私の心の故郷です。宜しくお願い致します。

教職員・学生の活躍

2020年3月1日～9月30日

学会・協会等の受賞、テレビ放映や新聞・雑誌に掲載された記事、書籍の出版など、本学科の教職員・学生の活躍を紹介します。

〔受賞〕

■ 4年 佐下栞あゆみ、佐藤明穂

国土交通省関東地方整備局「道の駅」学生コンテスト「奨励賞」

対象：道の駅「発酵の里こうざき」を対象とした提案

受賞年月日：2020年3月16日

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け表彰式は行われず、賞状は5月に郵送にて受け取りました。

■ 教授 田中 賢、助手 牟田聡子

建築研究開発コンソーシアム2019年度（第17回）建築・住宅技術アイデアコンペ「審査員特別賞」

対象：自ら学べる賢い子どもを育てる新たな「食育」空間の提案

受賞年月日：2020年2月21日

■ 客員教授 清水英範

令和元年度東京大学工学部「Best Teaching Award」

受賞年月日：2020年3月1日

令和元年度土木学会賞「研究業績賞」

対象：明治期・官庁集中計画の経緯と計画思想に関する研究

受賞年月日：2020年6月12日

■ 客員教授 廻 洋子

国土交通省令和元年度（第63回）交通文化賞

受賞年月日：2020年2月19日

〔雑誌等に掲載（執筆）〕

■ 教授 阿部貴弘

記事「論説 インフラツーリズムと道路」

掲載誌：『高速道路と自動車』第63巻第5号（公益財団法人高速道路調査会）

発行年月日：2020年5月1日

■ 客員教授 清水英範

記事「地籍調査の課題と方向性」

掲載誌：『人と国土21』2020年7月号（国土計画協会）

発行年月日：2020年7月13日

記事「土地家屋調査士と地籍調査」

掲載誌：『土地家屋調査士』2020年9月号（日本土地家屋調査士会連合会）

発行年月日：2020年9月15日

〔雑誌等に掲載（取材記事）〕

■ 教授 阿部貴弘

記事「信長の血脈 その数奇な運命をたどる」

掲載誌：『大人の休日倶楽部会員誌』No.143（東日本旅客鉄道株式会社）

発行年月日：2020年3月1日

〔テレビ番組（取材）〕

■ 教授 後藤 浩

NHK 総合『発見！あおり深世界』（青森県内放送）「大丈夫？青森・水害への備え」

放送年月日：2020年9月18日（19：30～19：57）

〔講演等〕

■ 教授 岡田智秀

八千代市新川かわまちづくりシンポジウム「新川を活かした川まちづくりプロジェクトこれまでの成果と社会実験に向けて」（オンライン講演）

主催：新川ウォーターフロント企業体

開催年月日：2020年3月15日

御前崎市まちづくりワークショップ「御前崎市いまから育むまちづくり」（オンライン講演）

主催：御前崎市役所

開催年月日：2020年7月15日

■ 教授 田中 賢

2019年度第1回公開研究会「『利用者本位の建築デザイン』とはなにかー発達障害のある人々を支える建築デザイン」

主催：日本建築学会ユーザー・オリエンテイド・デザイン（UOD）小委員会

開催年月日：2020年2月22日

編集後記

毎号、卒業生の就職後の活躍を読むと成長と頑張りを感じます。本号ではコロナ禍の中でも、いろいろ工夫をして対応している姿が目につきます。まちづくり工学科は学生と先生の関係が良いと、よくオープンキャンパス等で来場者から聞かれました。本号は就職と新型コロナに関する内容でまとめています。これは在学生に先生方の対応や学生のためのさまざまな配慮を知っていただければとの思いがございましたので、これからの学生生活の糧にいただければ幸いです。学生諸君も後期がはじまりました。コロナ禍に負けず継続して健康に留意して頑張ってください。（小木曾裕）